



新潟市立山田小学校

コミュニティ・スクール通信

令和7年5月 第1号発行



コミュニティ・スクール（CS）＝学校運営協議会制度

学校運営協議会制度とは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら未来を担う子どもの豊かな成長を「地域総がかり」で支える仕組みです。

コミュニティ・スクールでは、学校運営協議会を設置し、学校運営の基本方針を共有し、学校運営や子どもに必要な支援について、地域と学校が一体となって話し合いを行います。

令和7年度 第1回学校運営協議会が開催されました

5月8日(月)、山田小学校地域ボランティア室において、今年度の第1回学校運営協議会を開催しました。学校運営協議委員の皆様からご出席いただき、山田小学校の子どもたちの成長と学びのため、貴重なご意見をいただきました。協議会の前には、5時間目の学習の様子を参観していただきました。



1 学校より

- (1) 学校の基本方針について（校長）
- (2) 学校評価について（各推進委員会主任）
- (3) 令和7年度教育活動・学校行事等について（教務主任）
- (4) 地域と学校パートナーシップ事業について（地域教育コーディネーター）

2 協議

たくさんのご意見をいただきました。一部のみ紹介いたします。

- ・ 心の教育推進部について、例えば「相手がうれしいと感じた言葉を使おうとする」という評価項目は子どもにとって少し難しいのではないかと。
 - 学校としては、評価基準の数値で評価するのではなく、道徳や学活で『ふわふわ言葉』『ちくちく言葉』の指導をしたり、実際の生活経験と結び付け、教師が「こういう言葉を言われてどんな気持ちになるかな？」と問い返しを行ったりすることによって意識を高めていく。

- ・ タブレット端末は非常に利便性が高く、必要不可欠になっていることは理解できる。しかし、ノートの使い方を身に付けることや実際に字を書いて覚えるということも必要である。デジタルとアナログをバランスよく活用するのがよいのではないか。
 - 学校も同様に考えている。考えを広げたり深めたりする際に、自分の考えを自分の言葉で書くということも学習の中で取り入れていく。利便性だけにとられるのではなく、児童一人一人が確かな学びに向かうように効果的な活用を指導していく。
- ・ 登校班での登校ではなくなったが、大きな混乱はないように思う。学年問わずまとまって登下校している様子が見られる。ただ、朝の登校時間間際に一人で登校する子などもいて、見守りや街頭指導の時間は長くなっている。オレンジロードで、石を蹴りながら登下校するといった姿が見られたり、地域では、自転車で右側を走行する姿も見られることがあるので、学校に指導を求めたい。
 - 日頃からの保護者・地域の皆様の見守りには大変感謝している。登校班での登校を廃止したのは大きな変化であるので、教職員一同、安全に関わる指導を一層丁寧に継続的に行っていきたい。今後とも、子どもたちの様子について気付いたことがあれば教えていただきたい。
- ・ あいさつをより重視する上でも、地域の「5あいさつ運動」に学校や家庭で積極的に取り組んでほしい。6月、7月の『5』のつく日にふれあい協議会の委員が児童玄関前であいさつ運動を行いたいと考えている。



いただいたご意見を職員一同、今後の教育活動に生かしてまいります。今年度も変わらぬご支援のほど、よろしくお願いいたします。